

平成17年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人武蔵野市開発公社						
①	指標名	イースト吉祥寺まちづくり活性化事業			目標値	地区の協議会活動が充実できるように支援を強化する	実績値	協議会活動は昨年と比較して充実した
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:)							
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①東部地区街づくり協議会は、視察研修、ミニコンサートの実施等事業内容を充実できた。 ②ベルロード維持管理協議会、みその通り管理協議会の運営を支援した。 ③地区計画実現のための、吉祥寺東部地区活性化懇談会立ち上げへの協力・支援を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 1. ハード面 ①吉祥寺ロンロンと吉祥寺街づくり協議会とで、意見交換会を開き、ロンロンにより寸断されている東部地区の南北通有性の解消に向けて提案をした。 2. ソフト面 ①武蔵野市において第1号となる地区計画実現のために、吉祥寺東部地区活性化懇談会立ち上げをさせた。 ②地区の各種市民団体等の連絡調整及び円滑な運営のための支援・助言等についても、一定の成果を達成した。吉祥寺東部地区街づくり協議会でも、前年度と比較して、新たな企画を生み出し活動の幅を広げた。						
二次評価	●開発公社は、吉祥寺東部街づくり協議会、ベルロード維持管理協議会、みその通り維持管理協議会を事務局として支え、吉祥寺東部地区の活性化に対して側面から支援を行っている。 ●目標値が数値化されていないため達成状況の評価が難しいが、市と連携して市民の主体的な活動をソフト面を中心に支えてきており、一定の成果を挙げていると評価できる。							
①	指標名	ハモニカ横丁リメイク懇談会の開催			目標値	報告会を開催する。	実績値	懇談会を13回、報告会を1回開催した。
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位: 回)	—	—	7				
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①ハモニカ横丁の整備手法について、多面的、多角的に議論する委員会を開催し、将来のあるべき姿について論点を整理し、同地区の権利者及び地域の関係者に対し報告会を開催し、一定の方向性を示した。 結論としては、同地区を性急に再開発するのではなく、今できることを行うべきであり、将来建替えがあるかも知れないが、それまでハモニカ横丁のような超一等地をもう少し大事にしたらどうでしょうかという提案である。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○予定通り懇談会を開催し、地区関係者を交えた報告会も開催し、考え方を示した。内容的には予定通り進捗したものと評価できる。 ○結論については、同地区の持つ価値を尊重した現実的な提案であると思われる。						
二次評価	●ハモニカ横丁については、「ハモニカ横丁リメイク懇談会」を設置し、同地域のあるべき姿を多面的、多角的に検討をしてきたが、17年度中に報告会を開催し、一定の方向性を示すことができた。 ●さまざまな意見が寄せられ、防災設備の充実など当面の方向性を示すことができたため、目標は達成できたと評価する。 ●ハモニカ横丁は、本市において吉祥寺地域の重要な拠点であるため、今後も市と連携して、同地域の課題に積極的に取り組んでいくことが望まれる。今回の懇談会の成果をしっかりと今後のまちづくりに活かしていくとともに、明確な目標を設定することが必要である。							
②	指標名	事業基盤の安定と財政力の充実（事業収入）			目標値	1,341,796千円	実績値	1,340,514千円
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	99.9%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位: 千円)	1,099,976	936,648	1,238,170				
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①昨年度に引続き、FFビルの耐震改修・リニューアル工事に合わせて、A棟ビルの業種、業態のリモデルを行うことで、ビルの活性化を図り、賃料収入の回復を目指すため、関係者との交渉を行った。 ②シングルビルから東京法務局が撤退することが年度途中に決定したが、次期テナントの誘致を積極的に行い年度末に60%の床の予約を確保した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○目標値は不動産賃貸収入の予算額であるが、実績値としては概ね目標値に到達したと評価できる。 ○リモデルの完成予定である平成18年10月に向けて関係者と交渉を重ね、着実に進展している。						
二次評価	●(株)エフエフショッピングセンターの解散・資産引継ぎの関係で事業収入が増えている。 ●目標値には若干届かなかったものの、前年度より3.8%事業収入が伸びていることから、目標値をほぼ達成したものと評価する。 ●今後ともFFビルの耐震改修・リニューアル工事等を行い、テナントの満足度を高めることに積極的に取り組むとともに、賃料等の事業収入の確保・増大に努めていくことが必要である。							

平成17年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人武蔵野市開発公社						
③ 人 事 組 織	指 標 名	執行体制の効率化、職員研修の充実			目 標 値	○職員の通信教育講座の実施 2名 ○武蔵野市等への派遣研修 1名	実 績 値	○機構改革の実施（ラインの複雑化） ○職員の通信教育講座の実施 2名 ○武蔵野市への派遣研修 1名
	過 去 の 実 績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達 成 率	100.0%	達 成 状 況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	—	—	○職員の通信教育講座の実施 3名 ○武蔵野市等への派遣研修の開始 2名				
	取 組 内 容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①組織を総務とまちづくりの2本立てのラインにしたことにより執行体制を効率化した。 ②武蔵野市への研修生として1名を1年間防災課に派遣した。 ③市が職員研修としてプログラムしている「通信教育コース」から、宅建資格取得コース、民法等不動産関連を中心に受講させた。						
一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○目標値のとおり達成できた。 ○今後、通信教育は不動産関連資格の取得など、専門的な実務に対応できる人材育成の手段として期待できる。							
二 次 評 価	●組織の執行体制の見直しを行い、組織の活性化・効率化を図る取組を行っていることは評価できる。 ●職員研修については、通信教育や研修派遣などを計画的に行っており、目標値を達成していると評価する。今後とも計画的に人材育成に努める必要がある。							